

(令和5年4月作成版)

乳がん検診受診希望者様

稲城市福祉部健康課

新型コロナワクチン接種後の副反応による乳がん検診への影響等について

1 新型コロナワクチン接種後の副反応について

新型コロナワクチン接種後、特に2回目以降の接種後に、接種した側の腋窩リンパ節が腫れることが報告されていて、これは抗体を生成するために免疫機能が働いている兆候なので異常はありません。

2 乳がん検診への影響と問診について

新型コロナワクチン接種の直後に、乳がん検診で乳房エックス線検査（マンモグラフィ）を受ける場合、ワクチン接種による腋窩リンパ節の腫れを、乳がんの転移による腫大と誤認してしまうなど、検診の結果判定や診断に誤った判定を及ぼす場合があります。

このため、**新型コロナワクチン接種の直後に、乳がん検診を受診される方は、接種日や接種部位などの情報を、問診時にお申し出いただくよう、お願いします。**

3 新型コロナワクチン接種と乳がん検診受診の推奨間隔について

乳がん検診は、新型コロナワクチン接種前か、ワクチン接種から4～6週間の間隔をあけてからの受診が推奨されています。

出典：日本乳癌検診学会「乳がん検診にあたっての新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応の手引き（Ver.3.0）」